

事務事業名	新嵐山スカイパーク運営支援事業	所属部門	商工観光課 観光物産係
町長公約	新嵐山スカイパークを拠点とした観光基盤の整備	公約達成年次	2022年

◆ 事務事業の目的と効果

1. 手段(事業の概要) ・新嵐山スカイパーク一帯の施設整備及び維持管理を行う。
2. 対象(何を対象にしているか) ・施設利用者
3. 意図(この事業によって、対象をどのようにしたいか) ・利用者数の増加
4. 結果(意図のとおりになった場合、どんな結果に結びつくか) ・観光入込客数の増加 ・新嵐山スカイパーク利用者

※各項目を評価するのにふさわしい指標を1つ以上設定
(必ずしも3つの指標を設定する必要はありません)

5. 活動指標(手段や活動内容を表す指標)	単位
① 管理運営委託料	円
② 施設整備費	円
③	

6. 対象指標(対象の大きさを表す指標)	単位
① 宿泊者数	人
② キャンプ場利用者数	人
③ リフト乗降客数	人

7. 成果指標(意図の達成度を表す指標)	単位
① 対象指標施設の利用実績(対前年増減)	人
②	
③	

8. 上位成果指標(結果の達成度を表す指標)	単位
① 芽室町外からの観光入込客数	人/年
② 新嵐山スカイパーク利用者数	人/年
③	

◆ 総事業費・指標等の推移

内訳		単位	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	
投入量	事業費	国・道支出金	円	2,602,392	2,690,582	2,794,290	3,000,000	3,000,000	3,000,000
		地方債	円				33,400,000		
		その他(使用料等)	円			15,345,000		15,345,000	15,345,000
		一般財源	円	73,757,020	91,104,583	66,261,726	60,224,000	62,043,000	62,043,000
	事業費計(A)	円	76,359,412	93,795,165	84,401,016	96,624,000	80,388,000	80,388,000	
人件費	正職員従事人数	人	2	2	2	2	2	2	
	人工数(業務量)	人工	0.5144	0.4935	0.1243				
	人件費計(B)	円	4,001,808	3,848,289	996,693				
	トータルコスト(A+B)	円	80,361,220	97,643,454	85,397,709				
活動指標	①	円	44,841,000	44,841,000	45,256,000	45,256,000	45,256,000	45,256,000	
	②	円	26,055,399	42,352,601	26,773,000	26,773,000	26,773,000	26,773,000	
	③								
対象指標	①	人	6,936	5,930	6,035	5,930	5,930	5,930	
	②	人	-	-	-	-	-	-	
	③	人	481,174	378,874	356,354	378,874	378,874	378,874	
成果指標	①	人	16,156	-103,306	-22,520	0	0	0	
	②								
	③								
上位成果指標	①	人/年	198,800	201,100	171,600	203,900	206,450	209,000	
	②	人/年	-	-	362,389	502,900	507,900	513,000	
	③								

◆ 事務事業の現状と今後の取組

1. 事務事業の現状と課題 「町営」としていたが、景気低迷等による運営費赤字が増加したため、「廃止」を含めて検討したが、最終的には平成14年度から「指定管理者制度」により運営している。 新嵐山スカイパーク一帯の施設・整備の老朽化が進み、安全性確保や運営上の問題から段階的な修繕や設備の更新などにより、修繕など施設整備にかかる費用の増加が見込まれる。 利用者が求める環境、快適に過ごせる環境の整備を実施することにより、新嵐山一帯の利用者数増加、ひいては観光入込客数の増加につながる事が課題である。	2. 今後の取組 (2020年度及び2021年度以降の方向性・課題の解決方法) 新嵐山スカイパークを再生するために、芽室町の個性を体感できる場づくりを目指した施設整備、官民協働の視点を活かした管理運営を進める。そのために民間事業者との連携によるスカイパーク一帯の資源を活用した新しい魅力づくりに取り組む。令和元年度はサウンディング型市場調査を行い、新嵐山スカイパーク活用計画を策定した。また、令和2年度には指定管理者を公募し、令和3年度から新指定管理期間をスタートさせる(予定)。
--	---

事務事業名	町観光・特産品普及事業	所属 部門	商工観光課 観光物産係
町長公約	独自観光メニュー、体験プログラムの実施／観光・特産品の普及による交流人口増加策	公約達成 年次	2021年

◆ 事務事業の目的と効果

1. 手段(事業の概要) ・芽室町の魅力を発信し、観光誘客と物産の需要拡大を図る
2. 対象(何を対象にしているか) ・観光客
3. 意図(この事業によって、対象をどのようにしたいか) ・観光消費や物産購入につなげる。
4. 結果(意図のとおりになった場合、どんな結果に結びつくか) ・観光客数の増加

※各項目を評価するのにふさわしい指標を1つ以上設定
(必ずしも3つの指標を設定する必要はありません)

5. 活動指標(手段や活動内容を表す指標)	単位
① 事業費(予算額)	千円
②	
③	

6. 対象指標(対象の大きさを表す指標)	単位
① 芽室町への観光入込客数	人/年
②	
③	

7. 成果指標(意図の達成度を表す指標)	単位
① 観光物産協会物産販売額	千円
②	
③	

8. 上位成果指標(結果の達成度を表す指標)	単位
① 芽室町外からの観光入込客数	人/年
②	
③	

◆ 総事業費・指標等の推移

内訳		単位	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度
投入 量	国・道支出金	円						
	地方債	円						
	その他(使用料等)	円	237,326	211,507	571,000	571,000	571,000	571,000
	一般財源	円	3,440,272	6,480,835	11,102,000	11,102,000	11,102,000	11,102,000
	事業費計(A)	円	3,677,598	6,692,342	11,673,000	11,673,000	11,673,000	11,673,000
人件 費	正職員従事人数	人	2	2	3	3	3	3
	人工数(業務量)	人工	0.5921	0.6029				
	人件費計(B)	円	4,606,280	4,701,385	0			
	トータルコスト(A+B)	円	8,283,878	11,393,727	11,673,000			
活動指標	①	千円	3,640	7,199	11,673	11,673	11,673	11,673
	②							
	③							
対象指標	①	人/年	198,800	201,100	209,000	209,000	209,000	209,000
	②							
	③							
成果指標	①	千円	19,827	20,863	20,863	20,863	20,863	20,863
	②							
	③							
上位成果指標	①	人/年	198,800	201,100	209,000	209,000	209,000	209,000
	②							
	③							

◆ 事務事業の現状と今後の取組

1. 事務事業の現状と課題 観光資源及び特産品の魅力を発信し、町内外に芽室町の良さを知らせてもらう。北海道新幹線の函館開通、道東自動車道の延伸、SNS等の発達、インバウンド対策、また、管内でもアウトドアを核とするDMOが立ち上がるなど、常に変化する観光を取り巻く状況への対応が課題である。	2. 今後の取組 (2020年度及び2021年度以降の方向性・課題の解決方法) ①インバウンドや新幹線の影響⇒管内ではインバウンドを見据えた動きが活発化している。新幹線については札幌延伸を見据えた取り組みを検討する。 ②道東道⇒道央-道東の間にも位置する十勝平原SAが本町PRの重要拠点となっており、特産品普及効果だけでなく、町への誘客を図る。 ③SNS等の発達⇒FB等を活用した「観光の発信」や「特産品購入への誘導」を実施する。 ④アウトドアDMO⇒農業を核とする地元の人が多く関わりワクワクするサイクルツーリズムを目指しながら、地元の人と観光客とをつなぐニューツーリズムの仕組みを構築する。
---	---

事務事業名	町観光・特産品普及事業	所属部門	商工観光課 観光物産係
町長公約	独自観光メニュー、体験プログラムの実施／観光・特産品の普及による交流人口増加策	公約達成年次	2021年

◆ 事務事業の目的と効果

1. 手段(事業の概要) ・芽室町の魅力を発信し、観光誘客と物産の需要拡大を図る
2. 対象(何を対象にしているか) ・観光客
3. 意図(この事業によって、対象をどのようにしたいか) ・観光消費や物産購入につなげる。
4. 結果(意図のとおりになった場合、どんな結果に結びつくか) ・観光客数の増加

※各項目を評価するのにふさわしい指標を1つ以上設定
(必ずしも3つの指標を設定する必要はありません)

5. 活動指標(手段や活動内容を表す指標)	単位
① 事業費(予算額)	千円
②	
③	

6. 対象指標(対象の大きさを表す指標)	単位
① 芽室町への観光入込客数	人/年
②	
③	

7. 成果指標(意図の達成度を表す指標)	単位
① 観光物産協会物産販売額	千円
②	
③	

8. 上位成果指標(結果の達成度を表す指標)	単位
① 芽室町外からの観光入込客数	人/年
②	
③	

◆ 総事業費・指標等の推移

内訳		単位	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度
投入量	国・道支出金	円						
	地方債	円						
	その他(使用料等)	円	237,326	211,507	571,000	571,000	571,000	571,000
	一般財源	円	3,440,272	6,480,835	11,102,000	11,102,000	11,102,000	11,102,000
	事業費計(A)	円	3,677,598	6,692,342	11,673,000	11,673,000	11,673,000	11,673,000
人件費	正職員従事人数	人	2	2	3	3	3	3
	人工数(業務量)	人工	0.5921	0.6029				
	人件費計(B)	円	4,606,280	4,701,385	0			
	トータルコスト(A+B)	円	8,283,878	11,393,727	11,673,000			
活動指標	①	千円	3,640	7,199	11,673	11,673	11,673	11,673
	②							
	③							
対象指標	①	人/年	198,800	201,100	209,000	209,000	209,000	209,000
	②							
	③							
成果指標	①	千円	19,827	20,863	20,863	20,863	20,863	20,863
	②							
	③							
上位成果指標	①	人/年	198,800	201,100	209,000	209,000	209,000	209,000
	②							
	③							

◆ 事務事業の現状と今後の取組

1. 事務事業の現状と課題 観光資源及び特産品の魅力を発信し、町内外に芽室町の良さを知ってもらう。北海道新幹線の函館開通、道東自動車道の延伸、SNS等の発達、インバウンド対策、また、管内でもアウトドアを核とするDMOが立ち上がるなど、常に変化する観光を取り巻く状況への対応が課題である。	2. 今後の取組 (2020年度及び2021年度以降の方向性・課題の解決方法) ①インバウンドや新幹線の影響⇒管内ではインバウンドを見据えた動きが活発化している。新幹線については札幌延伸を見据えた取り組みを検討する。 ②道東道⇒道央・道東の間にも位置する十勝平原SAが本町PRの重要拠点となっており、特産品普及効果だけでなく、町への誘客を図る。 ③SNS等の発達⇒FB等を活用した「観光の発信」や「特産品購入への誘導」を実施する。 ④アウトドアDMO⇒農業を核とする地元の人が多く関わりワクワクするサイクルツーリズムを目指しながら、地元の人と観光客とをつなぐニューツーリズムの仕組みを構築する。
--	---

事務事業名	町観光・特産品普及事業	所属部門	商工観光課 観光物産係
町長公約	独自観光メニュー、体験プログラムの実施／観光・特産品の普及による交流人口増加策	公約達成年次	2021年

◆ 事務事業の目的と効果

1. 手段(事業の概要) ・芽室町の魅力を発信し、観光誘客と物産の需要拡大を図る
2. 対象(何を対象にしているか) ・観光客
3. 意図(この事業によって、対象をどのようにしたいか) ・観光消費や物産購入につなげる。
4. 結果(意図のとおりになった場合、どんな結果に結びつくか) ・観光客数の増加

※各項目を評価するのにふさわしい指標を1つ以上設定
(必ずしも3つの指標を設定する必要はありません)

5. 活動指標(手段や活動内容を表す指標)	単位
① 事業費(予算額)	千円
②	
③	

6. 対象指標(対象の大きさを表す指標)	単位
① 芽室町への観光入込客数	人/年
②	
③	

7. 成果指標(意図の達成度を表す指標)	単位
① 観光物産協会物産販売額	千円
②	
③	

8. 上位成果指標(結果の達成度を表す指標)	単位
① 芽室町外からの観光入込客数	人/年
②	
③	

◆ 総事業費・指標等の推移

内訳		単位	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度
投入量	国・道支出金	円						
	地方債	円						
	その他(使用料等)	円	237,326	211,507	571,000	571,000	571,000	571,000
	一般財源	円	3,440,272	6,480,835	11,102,000	11,102,000	11,102,000	11,102,000
	事業費計(A)	円	3,677,598	6,692,342	11,673,000	11,673,000	11,673,000	11,673,000
人件費	正職員従事人数	人	2	2	3	3	3	3
	人工数(業務量)	人工	0.5921	0.6029				
	人件費計(B)	円	4,606,280	4,701,385	0			
	トータルコスト(A+B)	円	8,283,878	11,393,727	11,673,000			
活動指標	①	千円	3,640	7,199	11,673	11,673	11,673	11,673
	②							
	③							
対象指標	①	人/年	198,800	201,100	209,000	209,000	209,000	209,000
	②							
	③							
成果指標	①	千円	19,827	20,863	20,863	20,863	20,863	20,863
	②							
	③							
上位成果指標	①	人/年	198,800	201,100	209,000	209,000	209,000	209,000
	②							
	③							

◆ 事務事業の現状と今後の取組

1. 事務事業の現状と課題 観光資源及び特産品の魅力を発信し、町内外に芽室町の良さを知らせてもらう。北海道新幹線の函館開通、道東自動車道の延伸、SNS等の発達、インバウンド対策、また、管内でもアウトドアを核とするDMOが立ち上がるなど、常に変化する観光を取り巻く状況への対応が課題である。	2. 今後の取組 (2020年度及び2021年度以降の方向性・課題の解決方法) ①インバウンドや新幹線の影響⇒管内ではインバウンドを見据えた動きが活発化している。新幹線については札幌延伸を見据えた取り組みを検討する。 ②道東道⇒道央-道東の間にも位置する十勝平原SAが本町PRの重要拠点となっており、特産品普及効果だけでなく、町への誘客を図る。 ③SNS等の発達⇒FB等を活用した「観光の発信」や「特産品購入への誘導」を実施する。 ④アウトアドMO⇒農業を核とする地元の人が多く関わりワクワクするサイクルツーリズムを目指しながら、地元の人と観光客とをつなぐニューツーリズムの仕組みを構築する。
---	--

事務事業名	町観光・特産品普及事業	所属部門	商工観光課 観光物産係
町長公約	独自観光メニュー、体験プログラムの実施／観光・特産品の普及による交流人口増加策	公約達成年次	2021年

◆ 事務事業の目的と効果

1. 手段(事業の概要) ・芽室町の魅力を発信し、観光誘客と物産の需要拡大を図る
2. 対象(何を対象にしているか) ・観光客
3. 意図(この事業によって、対象をどのようにしたいか) ・観光消費や物産購入につなげる。
4. 結果(意図のとおりになった場合、どんな結果に結びつくか) ・観光客数の増加

※各項目を評価するのにふさわしい指標を1つ以上設定
(必ずしも3つの指標を設定する必要はありません)

5. 活動指標(手段や活動内容を表す指標)	単位
① 事業費(予算額)	千円
②	
③	

6. 対象指標(対象の大きさを表す指標)	単位
① 芽室町への観光入込客数	人/年
②	
③	

7. 成果指標(意図の達成度を表す指標)	単位
① 観光物産協会物産販売額	千円
②	
③	

8. 上位成果指標(結果の達成度を表す指標)	単位
① 芽室町外からの観光入込客数	人/年
②	
③	

◆ 総事業費・指標等の推移

内訳		単位	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度
投入量	事業費							
	国・道支出金	円						
	地方債	円						
	その他(使用料等)	円	237,326	211,507	637,148	1,178,000	1,178,000	1,178,000
	一般財源	円	3,440,272	6,480,835	9,712,040	8,730,000	8,730,000	8,730,000
	事業費計(A)	円	3,677,598	6,692,342	10,349,188	9,908,000	9,908,000	9,908,000
人件費	正職員従事人数	人	2	2	3	3	3	3
	人工数(業務量)	人工	0.5921	0.6029	0.8395			
	人件費計(B)	円	4,606,280	4,701,385	6,731,488			
	トータルコスト(A+B)	円	8,283,878	11,393,727	17,080,676			
活動指標	①	千円	3,640	7,199	10,349	9,908	9,908	9,908
	②							
	③							
対象指標	①	人/年	198,800	201,100	171,600	203,900	206,450	209,000
	②							
	③							
成果指標	①	千円	19,827	20,863	23,628	20,600	20,600	20,600
	②							
	③							
上位成果指標	①	人/年	198,800	201,100	171,600	203,900	206,450	209,000
	②							
	③							

◆ 事務事業の現状と今後の取組

1. 事務事業の現状と課題 観光資源と特産品の魅力を発信し、町内外に芽室町の良さを知ってもらう。北海道新幹線の開通、道東自動車道の延伸、SNS等の発達、インバウンド対策、また、アウトドアを核とするDMOが立ち上がるなど、常に変化する観光環境をいかに生かしていくかが課題である。	2. 今後の取組 (2020年度及び2021年度以降の方向性・課題の解決方法) 道央-道東の中間にも位置する十勝平原SAが本町PRの重要拠点となっており、特産品普及効果だけでなく、町への誘客を図る。SNSを活用した「観光の発信」や「特産品購入への誘導」を実施する。農業を核とする地元の人が多く関わりワクワクするサイクルツーリズムを目指しながら、地元の人と観光客とをつなぐニューツーリズムの仕組みを構築する。また、芽室町観光物産協会やサイクルツーリズム協議会との連携、新嵐山のリニューアルの動きへの対応などと連動しながら観光資源と特産品の魅力を発信していく。
---	---

事務事業名	発祥の地杯ゲートボール大会開催支援事業	所属部門	商工観光課 観光物産係
町長公約	発祥の地ゲートボールの普及振興	公約達成年次	2020年

◆ 事務事業の目的と効果

1. 手段(事業の概要) ・発祥の地杯全国ゲートボール大会実行委員会に対し、大会開催に係る運営支援を行う
2. 対象(何を対象にしているか) ・参加チーム
3. 意図(この事業によって、対象をどのようにしたいか) ・参加者数の増加 ・新規参加チーム数の増加
4. 結果(意図のとおりになった場合、どんな結果に結びつくか) ・観光入込客数の増加

※各項目を評価するのにふさわしい指標を1つ以上設定
(必ずしも3つの指標を設定する必要はありません)

5. 活動指標(手段や活動内容を表す指標)	単位
① 補助金(予算額)	千円
②	
③	

6. 対象指標(対象の大きさを表す指標)	単位
① 参加チーム	チーム
②	
③	

7. 成果指標(意図の達成度を表す指標)	単位
① 参加者数	人
② 新規参加チーム数	チーム
③	

8. 上位成果指標(結果の達成度を表す指標)	単位
① 芽室町外からの観光入込客数	人/年
②	
③	

◆ 総事業費・指標等の推移

内訳		単位	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度
投入量	国・道支出金	円						
	地方債	円						
	その他(使用料等)	円	700,000					
	一般財源	円	711,414	1,717,409	1,110,307	1,655,000	1,655,000	1,655,000
	事業費計(A)	円	1,411,414	1,717,409	1,110,307	1,655,000	1,655,000	1,655,000
	人件費	人	2	2	3	3	3	3
	人工数(業務量)	人工	0.1603	0.1721	0.1771			
	人件費計(B)	円	1,247,064	1,342,028	1,420,067			
	トータルコスト(A+B)	円	2,658,478	3,059,437	2,530,374			
活動指標	①	千円	1,411	1,718	1,656	1,655	1,655	1,655
	②							
	③							
対象指標	①	チーム	90	72	70	80	80	80
	②							
	③							
成果指標	①	人	525	420	418	420	420	420
	②	チーム	5	5	5	5	5	5
	③							
上位成果指標	①	人/年	198,800	201,100	171,600	203,900	206,450	209,000
	②							
	③							

◆ 事務事業の現状と今後の取組

1. 事務事業の現状と課題 町民有志による大会実行委員会を発足し、当町ならではのおもてなしで大会参加者を歓迎する、誰もが参加可能なオープン大会として全国に「ゲートボール発祥の地＝芽室町」を発信した。昭和62年にはじまった発祥の地杯大会は、平成2年度の参加162チーム・参加者1,040人をピークに徐々に参加チームが減少し、全国的にも高齢層の愛好者数が減少傾向にある。	2. 今後の取組 (2020年度及び2021年度以降の方向性・課題の解決方法) 日本ゲートボール連合を中心に若齢層へのゲートボール普及が推進され、競技としてゲートボールに取り組む10代から30代までの競技人口が増加していることから、若い世代が参加を目指すような競技性を重視した大会運営を構築する。また、それに伴い運営主体となる実行委員会体制の見直しを進める。新型コロナウイルス対策として新しい生活様式を考慮した運営方法を検討する。
--	--

事務事業名	盆踊実行委員会運営支援事業	所属部門	商工観光課 観光物産係
町長公約	町民の集い、賑わいの場の継続、創出	公約達成年次	2021年

◆ 事務事業の目的と効果

1. 手段(事業の概要) ・盆踊り大会運営の支援を行う。
2. 対象(何を対象にしているか) ・町民
3. 意図(この事業によって、対象をどのようにしたいか) ・伝統文化、地域行事である盆踊りを通じて故郷を感じてもらう。
4. 結果(意図のとおりになった場合、どんな結果に結びつくか) ・芽室町の市街地に賑わいをもたらし、中心市街地の集客増につなげる。

※各項目を評価するのにふさわしい指標を1つ以上設定
(必ずしも3つの指標を設定する必要はありません)

5. 活動指標(手段や活動内容を表す指標)	単位
① 補助金(予算額)	千円
②	
③	

6. 対象指標(対象の大きさを表す指標)	単位
① 町民	人
②	
③	

7. 成果指標(意図の達成度を表す指標)	単位
① 盆踊り参加者数	人
②	
③	

8. 上位成果指標(結果の達成度を表す指標)	単位
① 商品販売額	億円
②	
③	

◆ 総事業費・指標等の推移

内訳		単位	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度
投入量	国・道支出金	円						
	地方債	円						
	その他(使用料等)	円						
	一般財源	円	160,000	160,000	160,000	160,000	160,000	160,000
	事業費計(A)	円	160,000	160,000	160,000	160,000	160,000	160,000
	人件費							
正職員従事人数	人	2	2	3	3	3	3	
人工数(業務量)	人工	0.0357	0.0351	0.0958				
人件費計(B)	円	277,730	273,708	768,167				
トータルコスト(A+B)	円	437,730	433,708	928,167				
活動指標	①	千円	160	160	160	160	160	160
	②							
	③							
対象指標	①	人	18,660	18,540	18,430	18,430	18,430	18,430
	②							
	③							
成果指標	①	人	486	756	629	629	629	629
	②							
	③							
上位成果指標	①	億円	795	795	795	795	795	795
	②							
	③							

◆ 事務事業の現状と今後の取組

1. 事務事業の現状と課題 伝統文化としての地域行事である盆踊りを通じ、住民にふるさとの良さを感じてもらい、短い夏のひとときを楽しむことを目的に始まった。芽室町・芽室町農業協同組合・芽室町商工会・芽室町市街地町内連合会の4団体が実行委員会をつくり運営している。減少傾向にある参加団体や参加人数を増加させること、「芽室音頭」の浸透が課題である。	2. 今後の取組 (2020年度及び2021年度以降の方向性・課題の解決方法) 子供から大人まで多くの町民を集める企画とPRを実施し参加者を増加させる。踊りの中に今後も「芽室音頭」の時間を設け浸透を図る。新型コロナウイルス対策として新しい生活様式を考慮した運営方法を検討する。
--	---

事務事業名	ふるさと会活動支援事業	所属部門	商工観光課 観光物産係
町長公約			公約達成年次

◆ 事務事業の目的と効果

<p>1. 手段(事業の概要)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域に居住する芽室町出身者や縁故者で構成するふるさと会への活動支援を行う。 ・広報誌すまいる(購読希望対象者)及びふるさと通信(全会員対象)を発送する。
<p>2. 対象(何を対象にしているか)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ふるさと会員(東京・札幌・旭川・大樹)
<p>3. 意図(この事業によって、対象をどのようにしたいか)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・町外に対する芽室町の情報発信者であることを意識してもらう。
<p>4. 結果(意図のとおりになった場合、どんな結果に結びつか)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・芽室町の知名度向上及び観光入込客数の増加 ・特産品等の需要拡大

※各項目を評価するのにふさわしい指標を1つ以上設定
(必ずしも3つの指標を設定する必要はありません)

5. 活動指標(手段や活動内容を表す指標)		単位
①	活動費	千円
②	広報誌購読者数	人
③		

6. 対象指標(対象の大きさを表す指標)		単位
①	ふるさと会員	人
②		
③		

7. 成果指標(意図の達成度を表す指標)		単位
①	ふるさと会活動参加者数	人
②	ふるさと会活動参加率	%
③		

8. 上位成果指標(結果の達成度を表す指標)		単位
①	芽室町外からの観光入込客数	人/年
②		
③		

◆ 総事業費・指標等の推移

内訳		単位	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度
投入量	国・道支出金	円						
	地方債	円						
	その他(使用料等)	円	38,847	63,963	77,022	123,000	121,000	121,000
	一般財源	円	418,211	371,952	482,476	578,000	501,000	501,000
	事業費計(A)	円	457,058	435,915	559,498	701,000	622,000	622,000
	人件費							
正職員従事人数	人	2	2	3	3	3	3	
人工数(業務量)	人工	0.0374	0.0332	0.0576				
人件費計(B)	円	290,956	258,892	461,863				
トータルコスト(A+B)	円	748,014	694,807	1,021,361				
活動指標	①	千円	140	140	140	140	140	140
	②	人	48	68	65	102	102	102
	③							
対象指標	①	人	426	419	364	364	364	364
	②							
	③							
成果指標	①	人	92	89	86	86	86	86
	②	%	22.66	21.24	23.62	23.62	23.62	23.62
	③							
上位成果指標	①	人/年	198,800	201,100	171,600	203,900	206,450	209,000
	②							
	③							

◆ 事務事業の現状と今後の取組

<p>1. 事務事業の現状と課題</p> <p>横綱大乃国の夏場所優勝をきっかけに誕生した東京美生会を前身に昭和62年6月に東京芽室会発足し、現在4団体が活動している。各ふるさと会は定期総会や交流会等の開催、会報発行、ホームページでの活動紹介などにより、ふるさと会の活性化を図っている。また、ふるさと会とは企業誘致に関する情報交換を行ってきた経過もある。各会共に会員の高齢化が進み、会員の減少が課題である。</p>	<p>2. 今後の取組 (2020年度及び2021年度以降の方向性・課題の解決方法)</p> <p>会員相互の親睦と交流を目的とした活動を実施している各ふるさと会に対して報償を支出し活動を支える。また、町広報誌等を通じたふるさと会の目的・活動状況のPRにより、会員の拡大を促す。</p>
---	---

事務事業名	ふるさと納税特典贈呈事業	所属部門	商工観光課 観光物産係
町長公約		公約達成年次	

◆ 事務事業の目的と効果

<p>1. 手段(事業の概要) 町外のふるさと応援寄附者に対し、特産品等を贈呈する事業であり、町は寄附者に対して寄附金受領証明書を発行すると共に、特産品の発注を行う。特産品の選定、調達及び発送は芽室町観光物産協会が担っている。</p>
<p>2. 対象(何を対象にしているか) ふるさと応援寄附者 ふるさと納税特典等</p>
<p>3. 意図(この事業によって、対象をどのようにしたいか) 寄附の推進を図るとともに、寄附者に町の特産品等を送付することで、町の魅力を発信し、いただいた寄附金をまちづくりの財源とする。</p>
<p>4. 結果(意図のとおりになった場合、どんな結果に結びつか) 町の物産振興及び観光振興につなげる。</p>

※各項目を評価するのにふさわしい指標を1つ以上設定
(必ずしも3つの指標を設定する必要はありません)

5. 活動指標(手段や活動内容を表す指標)	単位
① ふるさと応援寄附申込件数	件
②	
③	

6. 対象指標(対象の大きさを表す指標)	単位
① ふるさと応援寄附件数	件
② ふるさと納税特典等承認数(累計)	点
③	

7. 成果指標(意図の達成度を表す指標)	単位
① ふるさと応援寄附金額	円
②	
③	

8. 上位成果指標(結果の達成度を表す指標)	単位
① 芽室町外からの観光入込客数	人/年
② 芽室町観光物産協会HPアクセス数	件/月
③	

◆ 総事業費・指標等の推移

内訳		単位	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度
投入量	国・道支出金	円						
	地方債	円						
	その他(使用料等)	円	247,515	281,777	295,000			
	一般財源	円	70,387,184	50,443,914	42,787,560	42,980,000	42,980,000	42,980,000
	事業費計(A)	円	70,634,699	50,725,691	43,082,560	42,980,000	42,980,000	42,980,000
人件費	正職員従事人数	人	5	4	3	3	3	3
	人工数(業務量)	人工	0.2213	0.1568	0.8751			
	人件費計(B)	円	1,721,618	1,222,719	7,016,945			
	トータルコスト(A+B)	円	72,356,317	51,948,410	50,099,505			
活動指標	①	件	9,966	7,027	5,602	6,000	6,000	6,000
	②							
	③							
対象指標	①	件	8,949	7,203	4,772	5,000	5,000	5,000
	②	点	75	93	117	130	140	150
	③							
成果指標	①	円	97,759,900	76,223,000	76,545,000	70,000,000	70,000,000	70,000,000
	②							
	③							
上位成果指標	①	人/年	198,800	201,100	171,600	203,900	206,450	209,000
	②	件/月	1,800	1,600	-	-	-	-
	③							

◆ 事務事業の現状と今後の取組

<p>1. 事務事業の現状と課題 ふるさと納税を通じて、初めて芽室町を認知してくれた寄附者や、芽室町の特色が強く出た農産物等の特産品に高い評価を寄せる寄附者等、町の魅力発信は順調に進んでいる。国の制度見直し後における寄附件数減からの回復が課題である。</p>	<p>2. 今後の取組 (2020年度及び2021年度以降の方向性・課題の解決方法) ポータルサイトを有効活用した情報発信、新たな返礼品及び返礼品事業者の開拓、勉強会・情報交換会等の実施、芽室町観光物産協会との連携した対応の見直しなどにより寄附件数の増加を目指す。</p>
---	--

事務事業名	芽室町観光物産協会運営支援事業	所属部門	商工観光課 観光物産係
町長公約	観光物産協会に対する支援及び協働による観光物産振興	公約達成年次	2020年

◆ 事務事業の目的と効果

1. 手段(事業の概要) ・芽室町観光物産協会への支援を通じて、芽室町の地域資源を活かした観光及び物産振興につなげる。
2. 対象(何を対象にしているか) ・芽室町観光物産協会
3. 意図(この事業によって、対象をどのようにしたいか) ・物産の販促強化 ・協会主催イベントの入込客数増加
4. 結果(意図のとおりになった場合、どんな結果に結びつくか) ・観光入込客数の増加 ・観光物産協会の体制強化と経営安定化

※各項目を評価するのにふさわしい指標を1つ以上設定
(必ずしも3つの指標を設定する必要はありません)

5. 活動指標(手段や活動内容を表す指標)	単位
① 補助金(予算額)	千円
②	
③	

6. 対象指標(対象の大きさを表す指標)	単位
① 観光物産協会員(個人・法人)	件
②	
③	

7. 成果指標(意図の達成度を表す指標)	単位
① 協会主催イベントの入込客数	人
② 物産販売額+ふるさと納税受託収入	千円
③	

8. 上位成果指標(結果の達成度を表す指標)	単位
① 芽室町外からの観光入込客数	人/年
②	
③	

◆ 総事業費・指標等の推移

内訳		単位	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度
投入量	国・道支出金	円						
	地方債	円						
	その他(使用料等)	円						
	一般財源	円	9,793,000	9,924,000	9,700,000	12,914,000	12,914,000	12,914,000
	事業費計(A)	円	9,793,000	9,924,000	9,700,000	12,914,000	12,914,000	12,914,000
人件費	正職員従事人数	人	2	2	3	3	3	3
	人工数(業務量)	人工	0.1733	0.1623	0.1691			
	人件費計(B)	円	1,348,199	1,265,608	1,355,920			
	トータルコスト(A+B)	円	11,141,199	11,189,608	11,055,920			
活動指標	①	千円	9,905	9,924	9,700	12,194	12,194	12,194
	②							
	③							
対象指標	①	件	183	185	185	185	185	185
	②							
	③							
成果指標	①	人	8,000	8,000	8,000	8,000	8,000	8,000
	②	千円	81,349	64,236	55,249	90,600	90,600	90,600
	③							
上位成果指標	①	人/年	198,800	201,100	171,600	203,900	206,450	209,000
	②							
	③							

◆ 事務事業の現状と今後の取組

1. 事務事業の現状と課題 昭和37年5月に芽室町の観光資源開発を積極的に進め、特色ある観光地として発展させるために芽室町観光物産協会が設立された。平成30年11月以降のふるさと納税受託収入が大きく落ち込み、その対策が課題となっている。	2. 今後の取組 (2020年度及び2021年度以降の方向性・課題の解決方法) 食や景観といった本町の観光資源を生かした観光PRと連動した出展や多様なメディアを活用することによる販路の拡大、ふるさと納税返礼品の開拓等の取組みを支援し、安定した経営状況の実現による観光物産協会の自立を目指す。
---	--

2020年度（2019年度実績）事務事業マネジメントシート(簡易)

総合計画
施策番号 1-2-1

事務事業名	十勝産業振興センター参画事業		所属部門	商工観光課 観光物産係	
町長公約					公約達成年次
簡易シートを選択した理由	<input type="checkbox"/> 予算を伴わない事業	<input checked="" type="checkbox"/> 計上予算が負担金・繰出金のみの事業	<input type="checkbox"/> 法定受託事務		
	<input type="checkbox"/> 政策体系に結びつかない事業	<input type="checkbox"/> 今後3年間で大きな変化が見込まれない事業			

〔事業の概要・現状・課題〕

地域産業の振興を図るため、十勝産業振興センター運営負担金を支出する。

〔2020年度及び2021年度以降の方向性・課題の解決方法〕

現状の取り組みを維持する。

		内訳	単位	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度
投入量	事業費	国・道支出金	円						
		地方債	円						
		その他(使用料等)	円						
		一般財源	円	767,000	767,000	767,000	767,000	767,000	767,000
		事業費計(A)	円	767,000	767,000	767,000	767,000	767,000	767,000
投入量	人件費	正職員従事人数	人	2	2	3	3	3	3
		人工数(業務量)	人工	0.0013	0.0013	0.0011			
		人件費計(B)	円	10,113	10,137	8,820			
		トータルコスト(A+B)	円	777,113	777,137	775,820			